

**善光寺 善光寺界限・まちなか周遊促進プロジェクト**

**(1) プロジェクトの趣旨**

善光寺界限と中心市街地の周遊を促進するため、様々な観光関連事業者と連携し、周遊促進コンテンツを開発するとともに、周遊を促す仕組みを構築する。

◆成果指標

成果指標	基準値	R8目標値
善光寺・中心市街地の入込客数(千人)	6,436	6,565
善光寺・中心市街地来訪客の平均滞在時間	1時間26分	1時間56分

※平均滞在時間は平成29～令和元年度の平均値、目標値は30分の上昇値

**(2) R4年度の実施内容と成果**

事業① まちあるきの「着地型コンテンツ」開発販売

◆目的

長野市中心街にある、古民家リノベーションのカフェ、裏路地めぐりといった資源を活用し、主に若者層に訴求するガイドや体験等の付加価値をつけた、収益性のあるコンテンツを開発・販売する。

◆主な成果

- ・旅行事業者、古民家リノベーション等を行う民間主体等と協議を重ね、裏路地で活用できる資源の洗い出しを実施
- ・ゲーム性のある「まち歩きイベント」開催を通じた誘客・消費拡大策を検討し、次年度秋開催を目指して調整中
- ・まちなか周遊の魅力を伝え、今後のまちなかコンテンツ宣伝にも使えるプロモーション動画を製作

<その他の関連事業>

- ・善光寺宿坊住職11人のメッセージ動画を制作 (NCVB事業)
- ・「善光寺リアル七福神」店舗紹介パンフレットの更新・配布
- ・市街地デジタルマップによる人流データの取得
- ・旅行代理店主体のツアー商品造成に協力、モニターツアーを実施

**3) 総括と今後の方向性**

- ・収益性のあるコンテンツ開発のため、事業スキームの構築に取り組んだが、民間事業者に提案するまでには至らず、コンテンツとなりそうな素材の洗い出しに努めた。
- ・その中で、まちなかには、裏路地の写真映えするスポットや店舗などの資源があり、実践プロジェクトではまずこれらを目的とした来訪客を増やすことに力を入れることとした。
- ・その方法を検討する中で、近年ロゲイニング等で流行のある「まちなかを舞台としたゲーム性のあるイベント」を開催するという方向性が見いだされた。本年度はその視察やアドバイザとの企画検討が進んでおり、次年度秋にその第1回開催を目指している。
- ・イベント開催と並行し、裏路地の店舗等での「消費」につながるキャンペーンやツアー開発に取り組み、「まち歩き」というテーマでの商品開発・販売の機運をつくっていく。



## 1) プロジェクトの趣旨

長期滞在を可能にする仕組みを構築するとともに、観光資源を活かしたコンテンツ開発でファンを増やし、リピーター確保につなげる。飯綱高原ではアウトドアコンテンツを中心に戸隠等への周遊を促す。

### ◆成果指標

成果指標	基準値	R8目標値
戸隠地区の入込客数(千人)	1,482	1,511
戸隠地区来訪客の平均滞在時間	2時間11分	2時間56分

※平均滞在時間は平成29～令和元年度の平均値、目標値は45分の上昇値

## 2) R4年度の実施内容と成果

### 事業① 地域資源活用の滞在型コンテンツ造成

#### ◆目的

地域の自然、景観、文化、歴史を活かし、長期滞在観光スタイルの定着につながるコンテンツを拡充する。

#### ◆主な成果

- ・飯綱高原冬のアウトドア体験宿泊プランを造成、販売
- ・飯綱高原の冬のアクティビティ体験をSNS(Instagram、Facebook)による情報発信、およびインフルエンサーによるPRを実施
- ・コンテンツ宣伝用の地域共有用プロモーション動画を制作

### 事業② Eバイクの戸隠～飯綱相互乗り捨てを活かした宿泊客獲得

#### ◆目的

戸隠と飯綱高原をつなぐEバイクコースを構築し、それぞれの地域資源を活かした長期滞在の仕組みを構築する。

#### ◆主な成果

- ・戸隠～飯綱間のEバイク乗り捨ての仕組みを構築、サービスを開始
- ・Eバイクによる飯綱を起点とした広域周遊コースを3コース設計、コース上の整備と看板設置を実施



### <その他の関連事業>

- ・11月に戸隠善光寺から大峰城跡、飯綱神社を經由し、宿泊は、戸隠の宿坊へお泊りする「戸隠古道大ウォーク」を1泊2日で実施
- ・貴重な宿坊群・門前町の歴史的まちなみが残り、官民協働で歴史を活かしたまちづくりが進む戸隠地区で、茅葺き屋根に用いる茅の刈り取り体験を実施

## 3) 総括と今後の方向性

- ・戸隠では、各種体験コンテンツ開発が進み、継続している。今後はこれら **体験コンテンツと宿泊施設との連携を通じ、長期滞在プランとしての販売を模索**していく。
- ・飯綱高原では戸隠とも連携した広域周遊Eバイクの基盤を整えることができた。今後は **Eバイクの楽しみ方のプロモーションと、宿泊プランとの連動やガイドによる付加価値化**を図る。

# 松代 宿泊客のまちなか周遊促進プロジェクト

## 1) プロジェクトの趣旨

松代荘など地域に宿泊する観光客がまちを周遊し、滞在時間を延ばすことで、買い物や食事をするすることで、地域における観光消費につなげる。

### ◆成果指標

成果指標	基準値	R8目標値
松代地区の入込客数（千人）	545	556
松代地区来訪客の平均滞在時間	1時間41分	2時間11分

※平均滞在時間は平成29～令和元年度の平均値、目標値は30分の上昇値

## 2) R4年度の実施内容と成果

### 事業① 周遊Eバイクツアーの宿泊パッケージプラン販売

#### ◆目的

自然や絶景、地元農家と触れ合う収穫体験、名物ガイドなど、地域の人と触れ合うEバイクツアーと宿泊施設と連携した販売を行う。

#### ◆主な成果

- ・ゲストハウスと連携し「里山めぐり」「りんご狩り・陶芸体験」「川中島歴史」の3つのEバイクツアーを開発・販売
- ・宿泊施設と連携して、ガイド付きEバイク宿泊プランを販売



### 事業② 文化財を活用した飲食等コンテンツ開発

真田邸をはじめとする文化財を活かし、伝統文化体験等の付加価値をつけながら、飲食等のコンテンツを開発・販売する。

#### ◆主な成果

- ・文化財活用の可能性を確認し、観光利用の許可を獲得
- ・真田邸での食事付ガイドツアーを開発・販売

#### <その他の関連事業>

- ・飲食コンテンツである松代クラフトビールの販促ツールを製作



## 3) 総括と今後の方向性

- ・ 周遊Eバイクツアー、および宿泊パックは販売まで至ったものの、予約期間が短く、宣伝が足りなかったとの課題も見えてきた。今後も実施可能な状況にあるため、ビューローや宿泊施設等と連携した宣伝・プロモーションを強化し、顧客獲得を図る。
- ・ 文化財活用についてはコンテンツ開発の手ごたえを感じており、文化財と飲食の連動・プロモーションを強化、さらなるツアーの開発、消費拡大を進める。

## 中山間地 スローツーリズム推進プロジェクト

### 1) プロジェクトの趣旨

中山間地域にある様々な地域資源を磨き上げ、それらを線で結び、観光客が中山間地域を周遊する仕組みを作る。

#### ◆成果指標

成果指標	基準値	R8目標値
中山間地域の観光入込客数（千人）	389	397

※基準値は平成29～令和元年度の鬼無里、聖山高原、豊野、信州新町、中条の観光入込客数合計の平均値、目標値はその2%上昇値

### 2) R4年度の実施内容と成果

#### ◆目的

中山間地では、自然環境や里山暮らしなど活かした高単価な宿泊コンテンツを生み出す可能性が見込まれるものの、現時点では販売事業者が不在の状態にある。今年度は長野市が宿泊や体験事業者をピックアップし、関係主体とともに、実践プロジェクトを立ち上げる。

#### ◆主な成果

- ・鬼無里、信州新町、中条でそれぞれ宿泊等の事業者をピックアップ。フットパスや屋形船、収穫体験など宿泊の高単価化の可能性を確認し、次年度よりその開発に取り組むこととした。
- ・本市で初となるワイナリーの建設が信更地区で予定されていることから、現地を視察し、観光コンテンツとしての可能性を感じることができたため、それらの事業者と連携したワインツーリズムについて検討を始めた。

### 3) 総括と今後の方向性

- ・鬼無里地区を中心に収穫体験等と宿泊を組み合わせたコンテンツを試験的に販売するプロジェクトを立ち上げ、同様の取り組みを他地区にも広げていく。
- ・ワイナリー建設を機に、ブドウの収穫体験なども含めた観光コンテンツとして活用できないか、先進地の事例など調査・研究を進めていく。



(鬼無里:鬼無里の湯)



(信州新町:さざり荘)



(中条:アルプス展望広場)



(大岡:ワイナリーブドウ畑)